

2023 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜 B方式 入学試験 3期

## 入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2023 年 2 月 4 日（土）

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

---

芸術 学部 芸術 学科 芸術教養 領域

対象コース：リベラルアーツコース

### [課題]

下に引用する教養に関する論考の一部を読み、問 1 と問 2 に答えなさい。(引用文は省略)

#### 問 1

筆者は引用文中で、教養のある人は何のために読書をするのだと指摘しているか。引用文の記述に沿って 2 点を指摘し、200 字程度で説明しなさい。

#### 問 2

「教養のある人、あるいはそれを目指そうとしている人」にとって、芸術作品の鑑賞とは何であるだろうか。引用文中の筆者の指摘を参考にしながら、あなた自身の考えを 600 字程度で論じなさい。なお、必要であれば実体験や具体的事例を交えて説明してもよい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

総合型選抜試験という入試形態をふまえ、下の項目の関心の度合いや力をみることで、本領域が求める学生像に合致する資質を持つかどうかを判定する。

#### <読書・教養を重視する姿勢と芸術・文化への関心>

- ・読書を通して教養を身につけることの意義を理解できているか。
- ・文化遺産としての芸術の価値を理解し、継承することの重要性を認識できているか。

#### <基本的な日本語運用力と思考の客観性>

- ・問題文の意味を読み取れているか。
- ・引用文の内容を正確に把握し(問 1)、自分の考えを明確に表現できるか(問 2)。
- ・自分自身の思考を客観的かつ論理的に記述できているか。

名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース  
2023(R5)年度 総合型選抜 B方式 入学試験 3期  
[小論文] 問題用紙

※この問題用紙、解答用紙、全てを試験終了時に回収します。

下に引用する教養に関する論考の一部を読み、問1と問2に答えなさい。

教養のある人、あるいはそれを目指そうとしている人にとって、読書とは何か。まず、彼らにとって、**読書は単なる情報収集ではない。**(中略)

情報収集のためなら、本は一回読めば用済みになる。それどころか、そもそも本である必要もないだろう。データベースで十分だ。しかし、ダイアログを楽しむためだったら、同じ本を繰り返して読むことがありうる。それができるのは、読むたびに読み手がちょっとずつ変わっていくからだ。二度目に読む自分は最初に読む自分とは違っている。だから何度でも楽しめる。大げさに言えば、**ダイアログとしての読書は、つねに少しだけ新しい自分に生まれ変わるために行われる。**

「生まれ変わり」を受け入れることができるためには、自分は他者に少々影響されても大丈夫、それは他者に屈服することではない、という**闊達さ**が必要だ。(中略)

教養ある人は読書を通じて縦につながる。この「縦につながる」にはもう一つの意味がある。人類の文化遺産を継承するリレーの担い手になるという意味だ。物体としての本を残すだけなら、酸化防止剤と一緒にパックして冷暗所に置いとけばよい(かな)。でも、これでは文化遺産としての本を継承したことにはならない。並行して「本を読む」という行為・習慣と、それを楽しむ人々の存在も継承される必要がある。

(中略) 手っ取り早いのは、自分が本を読むことだ。そうすれば、少なくともキミが生きる間はこの世に「読む」が残る。教養ある人はこのことがわかっている。彼らが本を読むとき、**この世から「読む」を絶やさないために読んでいる**という側面もある。

戸田山和久『教養の書』筑摩書房、2020年、92-94頁より引用(太字は原文のまま)